



財源のアテもない! 採算のアテもない! 「リニア」

**1.5兆円の工事費増額! かつて補給や勝算のない中、
無謀な敗戦の道に走った戦前と同じだ!**

環境問題と安全問題と財源問題で国民から理解が得られない施策反対!

会社は4月27日、リニア建設の工事費が当初より1.5兆円程度増加し7兆400億円に達すると発表しました。理由は、品川、名古屋駅の工事が想定以上に厳しくなったこと、地震対策を強化する必要が明らかになったこと、掘削工事で発生した残土処理の費用が増えたことを挙げています。特に静岡県において水資源の安全確保が明らかにならず、地元自治体への説明と協議に対する会社の姿勢が問題になっています。

かつて会社は「三世代の鉄道」として日本の大動脈輸送を担うと豪語していました。しかし、この経営戦略は果たして正しいのでしょうか。コロナ禍のまっただ中にある今、感染拡大の収束はまだまだ見通せない状況です。例え、コロナの感染状況が収束したとしても、コロナ禍以前の状態に戻るかどうか疑わしいのではないのでしょうか。(経営)戦略の失敗は戦術で補うことは出来ません。戦術の失敗はどれだけ個々が頑張っても取り戻すことは出来ません。それは歴史が証明しています。会社の経営に責任を持つならば、社員をいたずらに迷わせることなく、明確な指針を打ち出す責任があるのではないのでしょうか。今は「リニア建設」を凍結する時期ではないのでしょうか。

絶対にペイしない施策反対!

2013年9月、JR東海の山田佳臣社長(当時、現相談役)が、リニア計画について「絶対にペイしない」と発言しましたが、今だに誰もこの発言を否定していません。ペイする根拠が見当たらないことは誰もが分かりきってるのです。

更なる労働条件悪化につながる施策反対!

職場では、次々と効率化が進められています。新幹線の検査周期の延伸や速度向上、車掌の2人乗務などサービスや安全が低下しています。「効率化の追求」「コストダウン」は、全てリニア建設に儲けを注ぎ込むための綺麗事です。このままでは社員が会社の犠牲になり路頭に迷うことになります!

まともな経営陣なら! 当たり前労働組合なら! 当然反対するはずです!